

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2021 年度(令和 3 年度)第3回理事会議事録

1. 開催日時 2021 年 10 月 8 日(金) 9:00-12:45

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 20 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一
理事 川幡 穂高
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 高橋 幸弘
理事 道林 克禎
理事 日比谷 紀之
理事 河宮 未知生
理事 浜野 洋三
理事 阿部 なつ江
理事 沖 大幹
理事 奥村 晃史
理事 掛川 武
理事 木村 学
理事 橘 省吾
理事 中村 昭子
理事 成瀬 元
理事 西 弘嗣
理事 村山 泰啓
理事 吉田 尚弘
監事 加藤 照之
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子

6. 出席オブザーバー

| | |
|----------------------|--------|
| 大気水圏科学セクションプレジデント | 谷口 真人 |
| 大気水圏科学セクションバイスプレジデント | 東塚 知己 |
| 固体地球科学セクションバイスプレジデント | 片山 郁夫 |
| 地球生命科学セクションプレジデント | 遠藤 一佳 |
| 大会運営委員会委員長 | 和田 浩二 |
| ダイバーシティ推進委員会委員長 | 坂野井 和代 |
| 情報システム委員会委員長 | 興野 純 |
| プログラム委員長 | 石渡 正樹 |
| 学協会長会議議長 | 林田 佐智子 |
| 事務局長 | 末廣 潔 |

午前 9 時 00 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣言した。インターネット会議システム Zoom を利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。
- ・准会員 ID(学部生以下)の整理について経緯を報告した。9 月 28 日までに 2 度准会員全員にメールを送り、在籍確認を行った。現在の所属に基づく身分変更を促し、また返信のなかった准会員を退会処理するなどの整理を行った。
- ・また AGU 会員のための ID についても、実態確認を行った。現在の AGU 会員資格と照合し、AGU 会員資格のない方の ID を削除した。

第 2 号議案 賛助会員承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、日本電気株式会社からの賛助会員入会を審議し、これを承認した。

第 3 号議案 新規委員承認の件

- ・ダイバーシティ推進委員、ジャーナル編集委員会、環境災害対応委員会、フェロー審査委員会、三宅賞審査委員会の委員を承認した。フェロー審査委員会委員長を承認した。

第 4 号議案 大会運営委員会規則改訂の件

- ・第 4 条を改訂し、任期を 2 年とすることを審議した。これを承認した。

第5号議案 情報システム委員会規則改訂の件

・第5条を改訂し、任期を2年とすることを審議した。これを承認した。

第6号議案 著作権規則改訂の件

・著作権規則の改訂を審議した。予稿、学会発表資料、データベースの著作権が明確でなかったので明記する。また「日本地球惑星科学連合大会発表資料取り扱いに関して」を新規に設置し、オンライン大会の場合に対応し、発表者、聴講者それぞれに対するガイドラインを作成した。著作権規則改定案第3条の「本法人データベース上の情報」は「本法人データベース上の著作物」と変更したうえで、案を承認した。

なお「日本地球惑星科学連合大会発表資料取り扱いに関して」は今後運用していく中で必要に応じて修正していく。

第7号議案 NPO法人「女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト」への団体加入の件

・例年ダイバーシティ推進委員会を通じて参加している「女子中高生夏の学校」の運営母体であるNPO法人「女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト」へ団体賛助会員として加入することを審議した。これを承認した。

・また、新しいキャリア支援事業を開催するにあたり、企業と連携して活動することを計画している。これらの企業と連携するにあたり、賛助会員になっていただく方がよいかということを検討した。検討の結果、賛助会員になっていただく方針を進めることとなった。

3. 報告事項

1. 田近 英一代表理事職務報告

・代表理事報告は特にないため省略した。

2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

・PEPSの投稿・編集・出版状況について、報告があった。
・JGLへ、前号に引き続き、次号にも記事を掲載する。インパクトファクターの説明に加え、それだけでなく、長く引用されるような質の高い投稿の重要性に関する記事を準備している。

3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

・グローバル戦略委員会の活動報告があった。
・日本地質学会がIGC(International Geological Congress) 韓国開催のための協力要請を韓国側の団体から受け、サポートレターや10の巡検の提案を提出したところ、webサイトに提供した資料の一部が無断で書き換えられて掲載された。「日本海」の名称が書き換えられるなどのほか、政治問題に発展しかねない巡検の企画などの問題が生じている。現在、両者で話し合いを持ってい

る段階であるが、日本地質学会だけにとどまらない重大な問題に発展する恐れがあるため、今後注視していきたい。

- ・連合大会のセッション提案が開始された。ジョイントセッション推進を連携学会にも呼び掛けている。

4. 小口 千明理事(ダイバーシティ担当)職務報告

- ・ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。
- ・男女共同参画学協会での活動報告があった。若手育成ワーキンググループのコア学会として、若手人材ネットワークの構築を本格的に開始する。
- ・男女共同参画学協会連絡会の定例調査である男女比率調査へ回答した。准会員 ID の整理に伴い、全会員数が 10,000 人を割り込んでいる。
- ・男女共同参画学協会連絡会のシンポジウムで発表を予定している。
- ・AGU Fall Meeting で Diversity, Equity, Inclusion に関するセッションを開催する。阿部なつ江委員がコンビーナー、宋苑瑞委員が招待講演を行う予定である。

5. 高橋 幸弘理事(SDGs 担当)職務報告

- ・SDGs 推進タスクフォースの活動報告があった。
- ・会長声明の発出を準備している。基礎科学の果たす役割と JpGU で推進する意義、2030 年以降の展望などを盛り込む予定である。
- ・ウェブページの作成を予定している。各セクション・委員会にもコンテンツの募集を行う。
- ・2022 年大会での特別企画を検討している。
- ・賛助会員ワーキンググループの検討について報告があり、制度についてのたたき台の提案があった。会費口数に応じて展示ブースを提供する。ただし現地で展示を行うことができない場合は他の広告媒体で補填する。既存の出展者も、従来の単年度の出展からこの賛助会員へ移行を推進することで、収入の安定化を図る。
- ・連合のプロモーションビデオを制作している。セクション等へイメージ写真等の提供依頼があった。AGU Fall Meeting までに作成することを目標としている。

6. 道林 克禎理事(大会展示担当)職務報告

- ・展示について報告があった。賛助会員制度の変更は来年の展示募集に間に合わせたい。展示ブースだけでなく、賛助会員になっていただくことで連合の価値を高めるような仕組みにしたい。
- ・大会の方向性が決定次第、展示についても企画の検討を開始する。

7. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

- ・後援したイベントについて報告があった。
- ・代議員選挙の進行状況について報告があった。2 回の選挙管理委員会を開催し、代議員候補者

を確定した。投票の受付を開始した。今後投票の促進を行う。

8. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

- ・財務委員会の活動報告があった。
- ・本年度の一般寄附の受け入れ状況、およびオンライン開催のための特定寄附の受け入れ状況について報告があった。
- ・来年度予算作成のための調査を行うため、各委員会セクションに協力依頼があった。

9. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

- ・和田委員長より大会準備報告があった。
- ・2022年大会ウェブサイトがオープンした。現在セッション提案受け付け中である。

○開催形式について

- ・ハイブリッドで検討を進めるが、いつでも円滑に完全オンラインに移行可能な設計で進めている。
- ・料金は、オンラインと現地参加を区別せずに同料金で設定する。
- ・会場における発表も含めてすべての口頭発表はオンラインを用いて行うことで、すべてのセッションを現地会場及びインターネット参加者に配信する。これによって、現地からもオンラインでも発表が可能となる。
- ・すべてのポスター発表はオンライン上に掲示する。コメント機能による質疑応答は可能。そのうえで、任意で現地やオンラインコアタイムにて発表が可能とする。

○日程と会場について

- ・ハイブリッド期間を5月22日(日)から5月27日(金)、オンラインポスターセッションを5月29日(日)から6月2日(木)までに設定する。
- ・幕張メッセ国際会議場を口頭発表会場、休憩・視聴スペース、出展ブースとして5月22日(日)から5月27日(金)に、展示場ホール1面をポスター発表会場および休憩・視聴スペースとして5月22日(日)から5月26日(木)に利用する。
- ・東京ベイ幕張ホール10部屋を利用する予定であったが、他から仮予約が入り使用不能となる見通しであるため、ホテルニューオータニ幕張の宴会場利用を検討中である。

○料金体系について

- ・投稿料は2021年と同額で公表済み 早期6,600円/件 通常8,800円/件である。
- ・大会参加登録料は未公表で、2019年大会全日参加早期登録とほぼ同額の予定である。
- ・料金設定については連合全体の財務状況に影響を及ぼすので、財務委員会とのより詳細なすり合わせが必要であるとの指摘があった。
- ・大会参加登録を遅らせる場合には、キャッシュフローについても注意したほうがよいという指摘があった。

○スケジュールについて

- ・現在セッション提案を受け付け中である。

- ・1月12日投稿開始、2月17日投稿締切の予定である。
- ・大会参加登録は完全オンライン移行の恐れを勘案し、3月下旬開始を予定している。

○COVID-19 対策について

- ・会場側と協力し消毒・換気に努める。
- ・来場希望者はあらかじめ登録が必要であるとし、受付をスムーズにする
- ・ワクチン接種は強く推奨し、ワクチンパスポートは利用できれば利用する。
- ・体調不良等があらかじめ判明している方の来場は不可とする。
- ・検温、不織布マスク推奨、セッション会場の入室定員の設定などを行う。

○イベント等について

- ・パブリックセッションのオンデマンド公開を検討する。
- ・現地展示を実施予定である。オンライン出展も設ける予定である。
- ・学生優秀発表賞は実施の予定である。
- ・表彰式については今後検討する。

10. 情報システム委員会活動報告(村山担当理事)

- ・情報システム委員会の活動報告があった。
- ・ORCID 日本コンソーシアムへ入会申請をした。10月1日より加盟となった。事務手数料(今年度分は半年分3万円)を支払っても今年度の予算案に収まる。ORCID 年会費4000ドルでベシック会員からプレミア会員資格となった。JpGU 関連の役職・研究発表などが、JpGU のクレジット付きで国際 ORCID データベースへ登録されることとなるため、学術活動の「Trust」を確保することができる。このことは GeoEthics の観点からも重要であるとの指摘があった。
- ・Google Workspace が利用可能となったため、委員会・セクションのアカウントを作成・配布し、利用を開始している。アカウントは責任者1名が使用することを想定している。責任者以外は個人のメールアドレスをグループに追加すれば個人のメールアドレスで共用できる。

11. 教育検討委員会活動報告(阿部担当理事)

- ・教育検討委員会の活動報告があった。
- ・アースサイエンスウィーク・ジャパンについて科学技術調査研究助成(新技術進行渡辺基金)申請の審議結果が通知され、不採択だった。アースサイエンスウィーク・ジャパンについては予算の組み換え等により、開催に支障が出ないように準備している。
今後も、外部資金への申請の機会が考えられるので、連合としてのルール作りが必要であるとの意見があった。
- ・理数系学会教育問題連絡会の規約が会合で承認された。
- ・教育課程小委員会が開催された。来年度も大会でパブリックセッションを予定している。
- ・理事会にて承認された防災教育小委員会が発足し活動を開始している。
- ・教員免許状更新講習事業を開催している。現在6件開催し、12月実施予定の2件を申請中で

ある。

- ・教育検討小委員会のウェブサイトを随時更新している。
- ・パブリックセッション提案にあたって、委員会から複数推薦したいとの意見があった。
- ・AGI(American Geoscience Institute)と協力して全国の高校に普及活動を行うことを準備している。高校の教員も交えて、会合を行った。

12. 広報普及委員会活動報告(橘担当理事)

- ・広報普及委員会の活動報告があった。
- ・JGLの11月号を編集中である。眞鍋博士のノーベル物理学賞受賞を受け、レイアウト変更、記事追加を行っている。
- ・高校生講座についても眞鍋博士のノーベル物理学賞受賞に関連したものを検討している。

13. 環境災害対応委員会報告(奥村理事)

- ・環境災害対応委員会の活動報告があった。
- ・本日午後、委員会開催を予定している。
- ・従来「ぼうさいこくたい」に参加していたが、ポスター発表の形式がなく、適切な参加形式がないため、今回は参加を見送る。また防災学術連携で「防災伝承」に関するシンポジウムを企画しているが、連合内に防災伝承に関する活動の蓄積がないため、こちらも参加は見送る。

14. 顕彰委員会活動報告(中村担当理事)

- ・顕彰委員会の活動報告があった。
- ・フェローおよび三宅賞の募集要項の準備報告があった。日程および詳細を了承した。
- ・フェローの募集に際して、「年齢に関わらず、相応しい方がいらっしゃれば是非推薦していただきたい」との顕彰委員会からの呼びかけがあった
- ・「学協会各種受賞者情報」のページは更新が滞っているため、改訂を検討している。
各学協会の表彰情報は個別に掲載せず、学協会独自のホームページの関連ページへのリンクを設置する。学協会以外の組織からの受賞情報を募り、掲載する。学生優秀発表賞を含むJpGUの賞は、当該ページへのリンクを設置する。
- ・三宅賞について、移行以前の地球化学研究協会での三宅賞受賞者の一覧がないとの指摘があり、今後掲載することとした。

15. その他

- ・西理事より事務局の勤務体制について報告があった。COVID-19 感染状況が縮小してきたが、しばらくテレワーク勤務を継続する。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後12時45分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2021年10月8日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第3回理事会

| | | | |
|------|------|------|---|
| 出席理事 | 田近 | 英一 | 印 |
| 出席理事 | 川幡 | 穂高 | 印 |
| 出席理事 | ウォリス | サイモン | 印 |
| 出席理事 | 小口 | 千明 | 印 |
| 出席理事 | 高橋 | 幸弘 | 印 |
| 出席理事 | 道林 | 克禎 | 印 |
| 出席理事 | 日比谷 | 紀之 | 印 |
| 出席理事 | 河宮 | 未知生 | 印 |
| 出席理事 | 浜野 | 洋三 | 印 |
| 出席理事 | 阿部 | なつ江 | 印 |
| 出席理事 | 沖 | 大幹 | 印 |
| 出席理事 | 奥村 | 晃史 | 印 |
| 出席理事 | 掛川 | 武 | 印 |
| 出席理事 | 木村 | 学 | 印 |
| 出席理事 | 橘 | 省吾 | 印 |

| | | | |
|------|----|----|---|
| 出席理事 | 中村 | 昭子 | 印 |
| 出席理事 | 成瀬 | 元 | 印 |
| 出席理事 | 西 | 弘嗣 | 印 |
| 出席理事 | 村山 | 泰啓 | 印 |
| 出席理事 | 吉田 | 尚弘 | 印 |
| 出席監事 | 加藤 | 照之 | 印 |
| 出席監事 | 鈴木 | 善和 | 印 |
| 出席監事 | 春山 | 成子 | 印 |